

林業安全コラム

**保護具着用 相互に確認 チームで
守る仲間の安全 ヨシ!**

(2016年度 安全衛生スローガン<月間重点活動>)

○ 平成28年における死傷災害、死亡災害の発生状況

平成28年の1～2月における死傷災害の状況（平成28年3月7日現在厚生労働省発表）は、190人と前年同期に比べ、8人の増加となっており、特に事故型別では、「転倒」や「激突され」が各前年比8人の増加となっており、足下の作業の支障となる障害物の除去や、伐倒作業における声かけ確認、退避確認、接近作業の禁止等適切な作業指示及び実施の徹底をお願いします。

業種、事故の型別死傷災害発生状況（平成28年） 速報値
(平成28年3月7日現在)

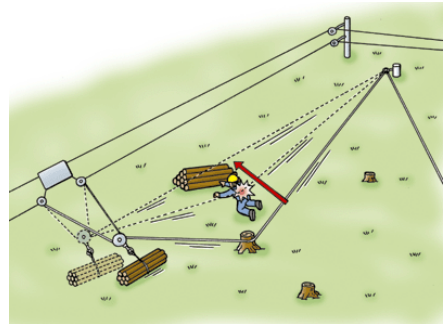
事故型		墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	合計
		林業	平成28年	13	25	3	39	12	50	11	27	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	6	0
	平成27年	14	17	6	42	11	42	17	23	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	1	0	182
対前年増減		-1	8	-3	-3	1	8	-6	4	-1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	8

(注) 労働者死傷病報告より作成したもの。 厚生労働省公表資料

○ 林業労働災害の発生時例について (類似災害防止のために!)

パルプ用雑木の皆伐作業において、この現場で伐木造材して集積した材木を集材機を使用して、土場までの運搬作業を行っていた。

被災者は、集材機運転者と2名で、パルプ用木材を集材機を使用して、約30度の斜面で運搬作業を行った。朝から20回程度運搬した後、被災者は造材したパルプ材を玉掛けして、ロージングブロックのフックに掛け終え、トランシーバーで集材機運転者に荷の巻き上げをするよう合図し、次の荷の方に移動した。集材機運転者は荷上索の巻き上げを開始した。ロージングブロックは荷上げ索の巻き上げに応じて、荷とともに主索の真下まで斜面を引っ張られ吊り上げられたが、ロージングブロックに固定されている引戻索もロージングブロックに引っ張られて、同様に斜面を主索の方に引っ張られた。途中にあった切り株に引っ掛かったが、集材機運転者は気づかず、荷上げ索を巻き上げたところ、引戻索がさらに引っ張られて、切り株から外れて跳ねて、次の荷の玉掛けの準備をしていた被災者の首に直撃したものである。



【荷が落下する恐れのある主索の下や索またはガイドブロック等の反発等の恐れのある作業索の内側に立ち入らないよう作業者の配置をあらかじめ設定しておく等の災害防止に努める必要があります。】

<お知らせ>

一般社団法人 日本森林技術協会 林業技士事務局から、平成28年度の林業技士（森林評価士、作業道作設士）養成研修の受講者募集が行われています。申込期間が、平成28年5月1日～6月30日となっています。詳しくは、〒102-0085東京都千代田区六番町7番地

一般社団法人 日本森林技術協会 林業技士事務局

TEL:03-3261-6692 FAX:03-3261-5393

受講申込及び募集案内は当協会 (<http://www.jafta.or.jp>) からダウンロードできます。

林業労働対策室
労働安全衛生班